

上空利用検討作業班(第3回)

～地域BWAにおけるユースケース～

2019年9月5日

地域BWA推進協議会

BWA推進部会長 中村光則

地域BWAの普及状況・・・2019年度

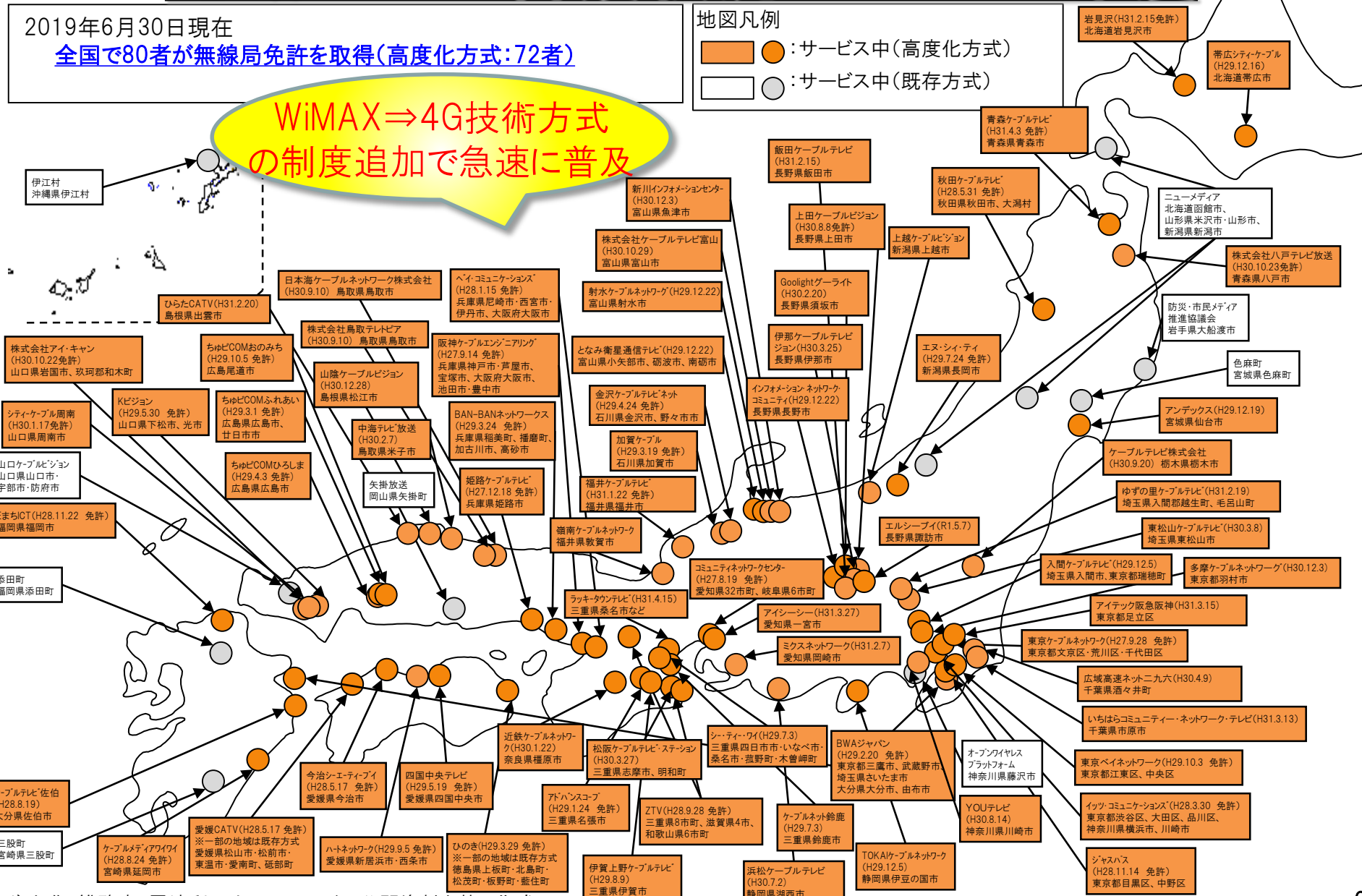
2019年6月30日現在

全国で80者が無線局免許を取得(高度化方式:72者)

WiMAX⇒4G技術方式
の制度追加で急速に普及

地図凡例

- : サービス中(高度化方式)
- : サービス中(既存方式)

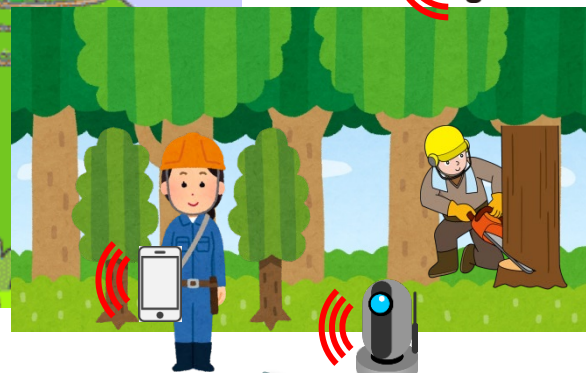
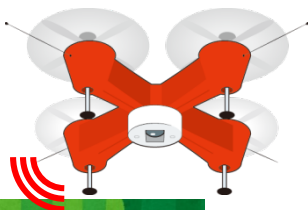


※) 出典: 総務省・電波利用ホームページの公開資料を基に作成

地域BWAの活用の拡大

電波空白地への展開

- 一次産業向けの“オフライン対策”ニーズ(農業・林業)
 - ・ 例) 林業支援・・・植林等のデータ管理、空撮、連絡手段など
 - ・ 例) 農業支援・・・作物の生育管理、農薬散布など



クラウドASP
リアルタイム処理

インターネット



地域BWAコア設備

既存IP



市役所
役場の周辺

オフライン区間

IP回線で接続
(FWA等)

2.5GHz帯
小型eNB



携帯電話(4G)の
エリア外で
利活用を想定

地域BWAによるドローン活用

・ 要望

- ドローン利用ニーズの増加

- ・ 地域BWAの普及に合わせて

- ◎農業・林業分野(携帯圏外)・・・空撮(生育管理など)、農薬散布
- 港湾エリア(ストックヤード、工場敷地内など)・・・盗難監視

- 当面は実証事業の位置付けでの利用を想定

- ・ 『実用化試験局制度』を活用(商用基地局エリア内で利用)

・ 今後の課題

- TDD遠方捕捉問題

- ・ 当面は、(離隔のある)単独基地局内で運用する、台数制限する等の工夫

- 実用局化・・・最終的には目指したい